

令和 3 年 度
事 業 報 告 書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

令和3年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営

社会福祉協議会は、民間組織であり住民参加による組織運営が要求されています。そこで理事会、評議員会の開催をはじめ、住民のニーズが反映できる組織体制の強化を目指し、公共性の高い民間組織となるよう効率化・適正化を図るとともに、事業運営の透明性の向上に努めました。

(1) 法人運営事業

① 会議の開催

名 称	期 日	内 容
監 査	5月21日(金)	・令和2年度決算監査
第1回理事会	5月31日(月) (みなし決議)	・令和2年度事業報告及び決算報告の承認の件 ・評議員候補者の推薦の件 ・評議員選任・解任委員会の招集の件 ・役員候補者の推薦の件 ・定時評議員会の招集の件 ・評議員選任・解任委員の選任の件
第1回評議員選任 ・解任委員会	6月9日(水) (みなし決議)	・評議員の選任について
第1回評議員会	6月18日(金) (みなし決議)	・令和2年度事業報告及び決算報告の承認の件 ・役員候補者選任の件 ・評議員就任の件
第2回理事会	6月18日(金)	・会長・副会長の選任について
第3回理事会	8月23日(月)	・コロナ警報のため中止
町監査	10月4日(月)	・財政支援団体監査
県指導監査	12月10日(金)	・社会福祉法人監査
第4回理事会	12月16日(木)	・会長の職務執行状況報告 ・専決事項(評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正)の報告 ・小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の報告

第5回理事会	3月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老館食堂運営事業変更の報告 ・ 県の指導監査結果の報告 ・ 苦情解決に関する第三者委員の報告 ・ 役員等賠償責任保険契約の承認 ・ 令和3年度第1次補正予算の承認 ・ 令和4年度事業計画の承認 ・ 令和4年度予算の承認 ・ 評議員会の招集
第2回評議員会	3月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の指導監査結果の報告 ・ 苦情解決に関する第三者委員の報告 ・ 令和3年度第1次補正予算の承認 ・ 令和4年度事業計画の承認 ・ 令和4年度予算の承認

(2) 組織運営及び機能強化

① 財務運営管理

適正な財務管理に努めました。

(3) 役職員の資質の向上

総務・総合相談

障害支援区分認定調査員研修(初任者向)	5月27日(木)
福岡県相談支援従事者初任者研修	9月16日(木)・9月21日(火)
	10月28日(木)・10月29日(金)
	12月7日(火)(実地研修)
	1月12日(水)・1月13日(木)
障害者相談支援事業所集団指導(OD)	12月20日(月)
朝倉地区障害者等自立支援協議会	3月23日(水)
朝倉地区障害者等自立支援協議会 運営部会	6月16日(水)・12月15日(水)
	3月2日(水)
朝倉地区障害者等自立支援協議会 地域部会	11月4日(木)・1月20日(木)
	3月10日(木)
朝倉地区障害者等自立支援協議会	8月26日(木)・2月3日(木)

相談支援部会	
筑前町地域自立支援協議会	8月3日(火)・10月8日(金) 3月11日(金)
精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	11月16日(火)
福岡県立大学公開講座 I	11月25日(木)
ヤングケアラー (OL)	
九州地区障がい者相談支援事業合同研修会	12月9日(木)
地域自立支援協議会担当者会議 (OL)	2月14日(月)
放課後等デイサービス・相談支援事業	2月17日(木)
所職員向け研修会 (OL)	
福岡県防災講演会	10月22日(金)
被災地により添う災害ボランティア	11月22日(月)
センター運営研修会 (OL)	
日常生活自立支援専門員研修	7月2日(金)・10月13日(水) 10月21日(木)・10月25日(月)
日常生活自立支援事業専門員実践強化研修 I	9月27日(月)
日常生活自立支援事業専門員実践強化研修 II	11月30日(火)
日常生活自立支援事業生活支援員研修	8月24日(火)
生活福祉資金事務説明会	10月21日(木)
生活福祉資金研修	10月27日(水)
福祉サービス苦情解決従事者研修会	2月1日(火)
筑前町自殺対策ネットワーク会議	3月18日(金)
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小 口資金等特例貸付に関する事務説明会 (OL)	3月29日(火)

地域福祉

両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会	4月5日(月)・7月13日(火) 11月12日(金)・3月9日(水)
両筑地区社協連絡会役職員会議	9月27日(月)・10月15日(金)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	6月25日(金)・11月29日(月)
社協職員の発想力向上委員会 (県地職連主催)	7月17日(土)

S C 初任者研修 (OL)	7月21日 (水)
S C 連絡会 (OL)	8月24日 (火)・10月20日 (水) 12月16日 (木)・2月28日 (月)
じぶんの町を良くする会議 2021	
第10回赤い羽根全国ミーティング	8月25日 (水)・8月26日 (木)
広報力強化研修 (OL)	12月3日 (金)
重層的支援体制整備事業に関する市町村説明会	1月25日 (火)
説明力向上研修 (OL)	3月9日 (水)
福祉教育担当者会議 (OL)	3月23日 (水)

(4) 事務局体制の整備

県社協 (市町村社協) 会長・事務局長会議	12月17日 (金)
両筑地区社協連絡会 会長・事務局長会	4月19日 (月)・11月11日 (木)
両筑地区社協連絡会 事務局長会	3月25日 (金)
県地職連主催中堅職員合同研修会	7月17日 (土)
県地職連主催研修	11月4日 (木)
労働者保険事務手続講習会	6月28日 (月)
社会福祉法人会計・財務講座 (OL)	10月18日 (月)
財務・会計セミナー (OL)	10月19日 (火)
安全運転管理者講習	10月26日 (火)
公正採用選考人権啓発推進員研修	12月6日 (月)
業務改善研修	12月16日 (木)・12月21日 (火)

※ (OL) オンライン (OD) オンデマンド

(5) 地域福祉活動計画の実現に向けて

10月6日 (水)・11月1日 (月) の職員ミーティングで重点的に12事業を推進していくことを定め、長期計画の作成を行いました。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ①社協だより・ホームページ | ②いきいきサロン事業 |
| ③生活支援コーディネーター事業 | ④配食サービス事業 |
| ⑤障害者相談支援事業 | ⑥重度障がい者交流会 |
| ⑦障がい者のつどい | ⑧放課後児童健全育成事業 |
| ⑨福祉教育の推進 | ⑩日常生活自立支援事業 |

⑪ボランティアセンター運営事業

⑫災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの再整備

(6) 広報活動の推進 (広報・ホームページ)

①広報誌発行

・「ちくぜん社協だより」・「声のちくぜん社協だより」 4回発行

(5月、8月、10月、1月)

② 町発行広報誌「広報ちくぜん」による広報・情報提供を行いました。

③ ホームページに福祉情報を掲載しました。

2. 社会福祉事業

(1) 独自事業

① 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごとなどを相談する窓口として開設し、相談員が助言や他機関の紹介を行い、問題解決の手助けをしました。また、研修会への参加をし、相談員としての知識の向上を図りました。

・毎月第1、第3金曜日に相談日開設

相談員 行政相談委員 2人 調停相談員 1人 人権擁護委員 7人

民生児童委員 5人 (内、1名退任)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
件数	2	1	1	1	3	2	2	3	1	3	1	1	21

※コロナ感染拡大防止のため 中止 5/21、6/4、6/18

規模縮小 8/6 (2人対応) 電話対応 8/20、9/3、9/17

※中止日の来所や急を要する相談は担当職員対応。

〈相談内容事項ごとの解決状況〉

相談内容事項	相談件数	解決内容			
		解決	再来	他機関	その他
生計	2			2	
生業・職業	3			3	
住宅	1			1	
家族	8	1	1	6	

医療	1			1	
人権・法律	1	1			
財産	1			1	
老人福祉	1			1	
苦情	1				1
その他	2	1		1	
合計	21	3	1	16	1

- ・相談員の研修 コロナ禍のため中止
- ・令和3年度福岡県法律相談合同研修会 1人参加

(2) 受託事業

① いきいきサロン事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域のみんなが支え合い、共に元気で楽しく心を通わせる場となるサロン事業を推進しました。

コロナ禍による影響から福祉課と協議し、緊急事態宣言中及び福岡コロナ特別警報期間は、サロン代表者に自粛要請を行いました。またそれ以外の期間の実施は各区の意見を尊重し、実施時間の短縮やメニューの変更等を行い、感染対策を十分に行いながら実施しました。

- ・開催地区 36 地区
- ・実施地区 33 地区
- ・未実施地区 3 地区
- ・実施回数 142 回
- ・延参加者数 1,993 人

ア) サロン代表者会議

- ・4月27日 サロン実施内容の説明と助成金交付

※9月15日、2月18日はコロナ感染拡大防止のため中止

イ) 合同交流会

- ・コロナ感染拡大防止のため6月に中止を決定

ウ) 各サロンの取り組み

- ・小学生との交流 0 地区
- ・野外活動 0 地区 (コロナ禍により社協から中止を依頼)

- ・町の出前講座 16回
- ・その他の出前講座 35回
- ・その他の取り組み 14回

② 在宅高齢者等配食サービス事業

調理や買い物が困難な高齢者等に対して、栄養のバランスがとれた食事を提供しました。また、利用者の見守り・安否確認を徹底しました。

配食サービス年間利用食数 (単位：食)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	54人	56人	64人	63人	64人	61人	
昼食	330	357	393	381	373	351	
夕食	732	775	862	900	878	879	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	63人	61人	60人	60人	56人	58人	720人
昼食	356	379	352	291	332	367	4,262
夕食	925	934	860	790	845	891	10,271
							14,533

③ 敬老館運営事業

家に閉じこもりがちな高齢者が交流を通して健康維持、生きがいをづくりとして集う場を提供しました。新型コロナウイルス感染予防に十分配慮しながら運営しました。

敬老館年間来館者数 (単位：上段 日 下段 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開館日数	26	9	8	27	6	0	
利用者数	300	129	135	423	133	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
開館日数	27	25	23	23	24	27	225
利用者数	534	565	591	583	426	269	4,088

(5月12日から6月21日まで、8月8日から9月30日まで休館)

- ・ラジオ体操 (毎日14時15分から)

④ 敬老館食堂事業

敬老館利用者等に安全でおいしい食事を提供し、地産地消に心掛けコスト

削減に取り組みました。

食堂年間売上

(単位：円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上額	294,720	71,270	85,470	321,200	74,640	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間売上額
売上額	303,370	266,760	283,070	263,710	253,160	360,470	2,577,840

(5月12日から6月21日まで、8月8日から9月30日まで休館)

⑤ 放課後児童健全育成事業

小学生を対象に、放課後こどもが帰宅しても就労等のため保護者が不在等の家庭に代わって保育を行いました。

ア) 安全第一での運営を推進するため「安全管理マニュアル」に則した運営に取り組みました。

イ) 統括支援員が随時学童保育に入り支援員との更なる連携強化に努めました。

ウ) 利用児童数の増加に伴い、みわっ子 SUN²クラブ・すくすくクラブでは第二学童を開設しました。のびのびクラブでは、従事者不足、会場の問題により待機児童が発生しました。(最大待機児童数 2人 ※9月22日に解消)

エ) 月1回主任打合せを開催し、支援員間の情報共有に努めました。

オ) 新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮しながら運営を行いました。

カ) 入所児童数

	みわっ子SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月
1年	31	23	28	23	25	19
2年	27	21	27	24	23	15
3年	18	13	20	17	16	11
4年	7	4	7	2	3	0
5年	1	0	1	0	4	3
6年	1	0	1	1	0	0
合計	85	61	84	67	71	48

※夏休みのみの受け入れ
みわっ子 SUN²クラブ 5人
すくすくクラブ 6人

キ) 学童連絡会の開催

関係機関との連携と情報共有の場として、こども課、こども未来センター、教育課、各小学校学童担当教諭が参加し実施しました。

	3学童合同	みわっ子 SUN ² クラブ	のびのび クラブ	すくすく クラブ	合計
開催回数	2	3	1	2	8

※5月、6月、8月 コロナ感染拡大防止のため中止

ク) 各研修会の参加

放課後支援員が研修会に参加し、質の向上に努めました。

- ・6回の各種研修会に延べ15人が参加
- ・支援員全体ミーティングを開催し17人が参加

ケ) 保護者会、役員会

コロナ感染拡大防止のため中止

コ) 安心メールの活用

⑥ 障害者相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や権利擁護のための必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行っています。障害者総合支援法に基づき事業を推進しました。

ア) 指定特定相談事業

スムーズな障害福祉サービスの利用ができるようにサービス等利用計画の作成を行いました。

- ・サービス等利用計画 38件 (モニタリング含む)

イ) 指定一般相談支援事業

障がいに関する多様な相談に障害者相談支援専門員が対応しました。また、心配ごと相談日に合わせて、障がい相談日を開設しました。

- ・相談業務 300件
- ・障がい相談日 毎月第1、第3金曜日に開設 件数 6件

※コロナ感染拡大防止のため、5/21、6/4、6/18は中止。

8/20、9/3、9/17は電話での相談対応。

⑦ 障害者支援区分認定調査

障害福祉サービスの利用を希望する本人の心身の状態や生活状況を聞き取り必要性を調査し、調査票の作成を行いました。

・認定調査 211 件

⑧ コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営む為の情報を得る手段として手話通訳及び要約筆記通訳の派遣を行いました。

・利用実績 60 件

利用登録者 12 人 手話通訳登録者 10 人 要約筆記登録者 13 人

⑨ 在宅介護者の支援

5月と11月にバスハイク、2月に介護予防講座の開催を予定していましたが、コロナ禍のため、中止を決定しました。コロナ過で在宅介護が長期化していることを受け、事業に対するニーズを把握するため、令和元年度の参加者を対象にアンケートの実施と感染症対策用品を送付しました。

アンケート調査送付者数 36 人 回収枚数 26 枚

⑩ 生活福祉資金貸付事業

県社協の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行いました。また、新型コロナウイルスの影響により収入の減少で生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対して特例貸付の受付を行いました。

相談等対応 514 件

福祉貸付 1 件 教育支援資金 1 件

特例貸付 緊急小口資金 74 件 総合支援資金 75 件

総合支援資金延長 受付 32 件 決定 14 件

総合支援資金再貸付 受付 66 件 決定 41 件

⑪ 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。

・利用者 延べ 14 人 ・新規契約者 6 人 ・解約者 1 人

・支援者 住民支援員 4 人 ・専門員 3 人

⑫ ボランティアセンター運営事業

地域住民を対象にボランティアの理解と活動の推進を行うように進めていましたが、昨年度から続くコロナ禍に伴い活動の自粛や中止、依頼減少が続き、計画を実施できない状況がありました。

ア) 情報の発信

- ・センターだよりの発行（6、9、12月発行）
- ・ホームページの更新

イ) ボランティア依頼の対応および活動の提供

- ・ボランティア依頼への対応及びボランティアへの調整を行いました。

依頼数 17件

マッチング数 17件

活動者数 52人

ボランティア個人登録数 34人

ボランティア団体登録数 16団体（195人）

ウ) 児童・青少年事業と連携した福祉教育への取り組み

- ・小・中学生向けに福祉教育の啓発と推進を行いました。

- ① 三輪小学校向け福祉教育プログラム「知ってる？ボランティア活動のこと」の実施（6月25日）
- ② 中牟田小学校向け福祉プログラム「知ってる？ボランティア活動のこと」の実施（10月26日）
- ③ 三並小学校向け福祉プログラム「知ってる？ボランティア活動のこと」の実施（11月9日）
- ④ 青少年ボランティア事業（担当課：生涯学習課）での中学生向けボランティアへ「ボランティア研修会」の対応（8月4日）
- ⑤ 子ども育成塾事業（担当課：生涯学習課）向け「ボランティア学習」の対応
コロナウイルス感染拡大のため中止（1月22日）

エ) ボランティアセンター運営委員会の実施（4月27日、11月5日）

オ) 各種ボランティア講座の実施

- ・小・中学生向け手話体験講座 5人（8月3～5日）
- ・大人向け手話体験講座 8人（10月6日～11月10日）
- ・ちりめん de 小物づくり講座 10人（10月15日）
- ・聞こえのサポーター講座 13人（11月20日）

- ・ハンドケア講座 6人（11月25日）
- ・声のボランティア講座 6人（12月2日）
- ・福祉教育サポーター講座 6人（3月4日）

カ) ボランティア交流会の実施

コロナ禍で、センター登録の団体・個人を対象に実施の有無をヒアリング調査した結果、やむを得ず中止にしました。

⑬ 生活支援コーディネーター事業

いつまでもこの地域で暮らしていけるように、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう身近な地域での支え合いを推進していますが、コロナ禍により推進の一部自粛を余儀なくされました。

ア) 地域の支え合い活動の推進

各種関係機関やシニアクラブ等当事者団体等への会議に積極的に参加し地域の支え合いの推進に努めました。

- ・シニアクラブ会合等への参加 12回
- ・関係機関等との会議 18回

イ) 元気な高齢者への社会参加の推進

地域でのサロンや居場所へ積極的に出向き地域住民との信頼関係の構築に努めました。

- ・居場所の構築 1箇所（現在5箇所）
- ・いきいきサロンへの参加 40回
- ・地域の行事参加、取材等 17回

ウ) 住民参加型有償生活支援サービス事業の運用について

5月から地域における日常生活の軽易な困りごとを地域力で解決する取り組みを開始しました。

- ・実績

依頼件数	17件（内不承認5件）
延べ支援回数	87回（緊急事態宣言中はSCが実施）
支援内容	散歩の付き添い、買物代行、買物付き添い、掃除、資源ゴミ出し、公共料金の支払い、郵便物代読、木の伐採、エアコン清掃、家電製品の撤去と設置
かせし隊（支援者）数	10人

エ) LINE脳若365「筑前支えあい広場」での情報発信

地域の福祉活動者を中心にLINEを活用した情報発信を行いました。

- ・実績 発信回数 60回
 主な発信内容 サロン情報、居場所情報、
 ぷら〜り散歩、知っ得マップ

⑭ 筑前町シニアクラブ連合会事務支援

毎月の役員会参加

県老連や筑前町からの補助金等に対する支援を中心に事務支援を行いました。

(3) 共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

① サロン応援隊の育成 (いきいきサロン)

- ・レクリエーション講習会 10月9日(土)、23日(土)

参加隊員延べ19人出席

② ひとり暮らし高齢者のつどい

コロナ禍の影響から外出を断念し、プレゼント企画に変更し実施しました。

配布人数 119人

③ 敬老の日祝事業

白寿と米寿を迎えられた方へ敬老のお祝い品を贈呈しました。

白寿 22人 米寿 148人

④ 金婚お祝い事業

結婚50年を迎えた29組の申請されたご夫婦に記念品を贈呈しました。

記念品 夫婦湯飲み

⑤ シニアクラブ連合会への配分及び支援

助成金配分と活動支援を行いました。

⑥ 遺族会への配分及び支援

助成金配分と自主活動の事務支援を行いました。

B. 障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

11月に開催を予定しておりましたがコロナ禍のため、中止を決定しました。

② 重度障がい者の交流会

11月に開催を予定しておりましたがコロナ禍のため、中止を決定しました。

また、障害者総合支援法施行により、障がい者自らの望む地域生活を営む

ことができるサービスの充実が図られ、福祉サービスの利用・家族等の支援により外出や当事者同士の情報共有、交流の機会の確保が確保されていることを受け、今年度をもって廃止としました。

③ 福祉用具の貸与 36 件

④ 身体障害者福祉協会の配分及び活動支援

助成金配分と、自主的活動の助言と事務支援を行いました。

⑤ 障がい者小規模作業所への配分

町内 3 か所の小規模作業所へ助成金配分を行いました。

C. 児童・青少年福祉事業

① 小学生の福祉教育の推進

各小学校区の地域性、学年に応じた福祉への理解と芽生えを目的に、福祉教育を推進しました。

ア) 「知ってる? 赤い羽根共同募金」の福祉教育プログラムを町内全小学校に提案し、三輪小学校、三並小学校で実施しました。

イ) 他事業の担当者と連携し、新たな福祉教育プログラム「やってみよう! 車いす体験」、「やってみよう! 視覚障がい体験」を作成し、全小学校に提案し、三輪小学校、三並小学校で実施しました。

ウ) 福祉教育教材「ともに生きる」を町内全小学校へ配布しました。

エ) 福祉教育におけるゲストティーチャーの対応を行いました。

(視覚障がい者・ガイドボランティア)

② 中学生向け福祉体験の実施

町内 2 中学校が実施する、1 年生向けの福祉体験(車いす・視覚障がい体験)に協力、支援しました。

③ 小学校・中学校への配分

町内にある、全小・中学校へ助成金の配分を行いました。

④ 福祉教育用具の貸与 4 件

D. その他の福祉事業

① 福祉育成

ア) バス停管理 8 月に巡回し、清掃と点検を行いました。

イ) レクリエーション用具の貸与 40 件

② ボランティア活動

ア) ボランティア連絡協議会への支援と助成金配分を行いました。

事務対応および事業の支援を随時行い、助成金配分を行いました。

イ) 災害ボランティア活動者に対し保険の助成を行いました。 1件

ウ) 地域住民が地域を住みよくするため支え合い活動助成を行いました。

6件

3. その他

(1) 社会福祉法人連絡会

① 社会福祉法人連絡会（施設長会）

第1回 7月26日（月） 8事業所

- ・小規模法人のネットワーク化による協働推進事業について
- ・筑前町における災害福祉支援体制の構築について
- ・サポーター部会令和2年度活動報告
- ・情報交換（コロナ対応・対策等）

小規模法人のネットワークによる協働推進事業事務局会議（WEB会議）

10月7日（木）

② サポーター部会

ライフレスキューサポーターが集まり、生活困窮者に対する支援を行いました。新型コロナウイルス感染症の状況により協議の必要性を鑑み部会の開催を実施しました。（部会開催回数 6回）

ア) サポーター部会会員人数 12人

イ) サポーター部会実施回数 6回

ウ) 支援ケース2件（内拠出金2件14,607円）

エ) 支援回数及び延べ活動人数 15回 29人

(2) まちづくり出前講座

① 介護予防のための軽運動 4回

（内1回はコロナ感染拡大防止のため中止）

② レクリエーション用具で遊ぼう！ 14回

（内4回はコロナ感染拡大防止のため中止）